

KYOEI STEEL

第78期
中間株主通信

2021年4月1日 ▶ 2021年9月30日



証券コード：5440

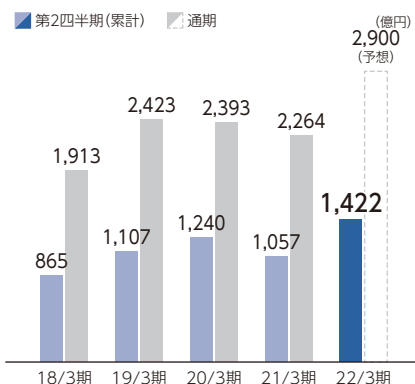
 **共英製鋼株式会社**

第2四半期決算ハイライト

売上高

1,422 億円

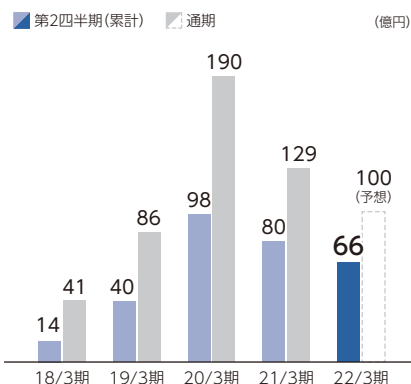
前年同期対比 34.5% 増 ▲



経常利益

66 億円

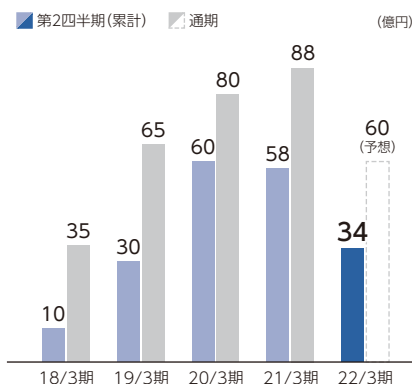
前年同期対比 16.5% 減 ▼



親会社株主に帰属する 四半期 (当期) 純利益

34 億円

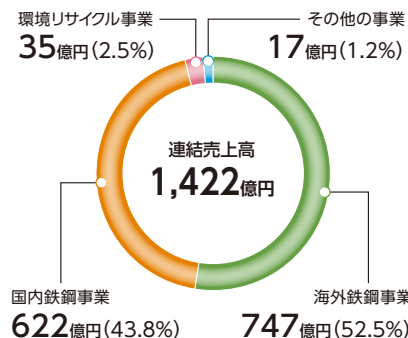
前年同期対比 41.1% 減 ▼



※1 21/3期において企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、20/3期の関連する数値にはこれに伴う見直しが反映されています。
※2 22/3期より、「収益認識に関する会計基準」を適用しています。

セグメント別業績

■ 海外鉄鋼事業 ■ 国内鉄鋼事業
■ 環境リサイクル事業 ■ その他の事業



		前第2四半期 (累計)		当第2四半期 (累計)	
		金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	前年同期比 (%)
国内鉄鋼事業	売上高	53,537	62,248	+16.3	
	営業利益	8,333	1,395	△83.3	
海外鉄鋼事業	売上高	47,264	74,746	+58.1	
	営業利益	△372	3,783	-	
環境リサイクル事業	売上高	3,055	3,534	+15.7	
	営業利益	427	940	+120.0	
その他の事業	売上高	1,862	1,675	△10.0	
	営業利益	△0	12	-	
調整額	営業利益	△550	△532	-	
	計	売上高	105,718	142,203	+34.5
	営業利益	7,838	5,599	△28.6	

トップインタビュー TOP INTERVIEW

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。第78期第2四半期（2021年4月1日から2021年9月30日まで）の業績につきまして、ご報告申し上げます。

代表取締役社長
ひろ とみ やす ゆき
廣富 靖以

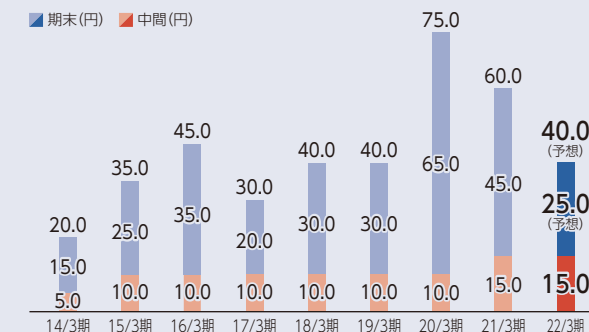


— 第78期(2022年3月期)上期の業績について 前年同期対比増収減益、 国内鉄鋼事業は大幅減益も海外鉄鋼事業・ 環境リサイクル事業がカバー

国内鉄鋼事業は、鉄鋼需要が盛り上がりを欠く中、原材料の鉄スクラップ価格が前年同期の2倍以上に急騰し、大変厳しい事業環境となりました。当社グループでは製品価格の引き上げに努めましたが、利益の源泉となる売買価格差（製品価格と原材料価格との差額）は大きく縮小しました。一方、海外鉄鋼事業の上期(1~6月)については、ベトナムでは旧正月明けの需要回復や中国の旺盛な鉄鋼需要を背景に堅調な需要環境が続く中、製品の値上げも進み、特に南部拠点では上期の業績としては過去最高となりました。北米では寒波の影響や、設備の定期修繕による操業の一時休止などがありましたが、経済活動の再開

当期の中間配当および期末配当予想について

当期の1株当たり中間配当につきましては、期初予想通り15円とさせていただきます。期末配当につきましても、期初予想通りの25円とし、通期で40円を予想しています。



に伴う鉄鋼需要の回復により業況は概ね良好で、海外鉄鋼事業全体の業績は、前年同期の赤字から大幅に改善しました。環境リサイクル事業も、新型コロナウイルス関連の医療廃棄物処理案件や、当社グループの得意とする難処理廃棄物の処理量が増加したことなどから増収増益となりました。国内鉄鋼事業が厳しい中で、海外鉄鋼事業や環境リサイクル事業が一定程度補った形です。

なお、営業利益と経常利益との約10億円の差は、主に国内外の持分法投資利益によるものです。

— 下期の業績予想について

国内は引き続き厳しく、海外は北米が好調

国内鉄鋼事業については、下期も鉄スクラップ価格が高水準で推移するものと予想され、また、電力や合金鉄等の価格上昇も想定されます。製造コスト削減、製品価格の

引き上げに努めていますが、下期の利益は当初計画を下回る見通しです。海外鉄鋼事業については、上期に好調であったベトナム拠点の業績は、7月以降の新型コロナウイルスの感染拡大に対応したロックダウンなどの影響により厳しくなる見通しですが、北米では、堅調な需要環境の下、生産・出荷とも順調であり、また鉄スクラップ価格の上昇に応じて製品価格の引き上げも進めているため、米国、カナダの両拠点とも好業績となると見込んでいます。環境リサイクル事業については、新型コロナウイルス関連の案件は減少するものの引き続き堅調な利益が期待できます。また、北米の持分法適用会社の収益も堅調とみられることから、持分法投資利益などの営業外収益も上期と同程度となる見込みです。

以上により、2022年3月期の業績予想については、連結売上高2,900億円、連結営業利益80億円と下方修正いたしました。連結経常利益は100億円、親会社株主に帰属する当期純利益は60億円と据え置きを予想しています。

— 中期経営計画「NeXuS 2023」の進捗について

海外鉄鋼事業への投資が着実に開花

当社グループでは、本年4月に公表した2021年度から2023年度までの中期経営計画「NeXuS 2023」の下、「つなぐ力」の強化によるグループ全体の成長を目指して、様々な取り組みを進めています。

中でも、海外鉄鋼事業の収益力強化は、前中期経営計画「Quality Up 2020」から引き継いでいる重要課題です。将来の国内市場が縮小することを見据え、当社では

海外鉄鋼事業の強化を目指してきました。2011年のベトナム北部拠点取得、2015年の南部拠点の生産能力拡大、2016年の米国拠点買収に続き、2018年にはベトナム北部に2つ目の拠点取得、そして2020年のカナダ拠点買収と、この10年で海外へのM&Aや設備投資を積極的に行い、日本・ベトナム・北米の「世界3極体制」を確立するに至りました。しかしながら、製品出荷量や売上高の順調な伸びに対し、利益面では十分に成果が出ていませんでした。

もちろん、投資の効果が出てくるまでには相応の時間や労力が必要です。当社も日本の技術者の派遣や設備改修、営業体制の見直しなど、各拠点で、現地スタッフとともに地道な努力を重ねてきました。その結果、事業環境の好転という背景はあるものの、この国内鉄鋼事業の業況が厳しい今年、ベトナム、北米ともしっかりと利益を上げ、連結業績を支えてくれるようになりました。長年にわたって行ってきた海外投資が、ようやく花開いてきたという思いです。今後は、世界3極体制の盤石化を目指し、さらなる競争力強化に向けた生産能力拡大の計画を具体的に進めたいと考えています。

「エッセンシャル・カンパニー」を目指して

しかし、こうした海外展開も、基盤となる国内鉄鋼事業があってこそであり、何よりもまず国内鉄鋼事業の競争力をしっかり強化していかなければなりません。原材料、製品ともに市況の波の大きい建設用鋼材市場で生き抜いていくためには、製造面を中心としたコスト削減努力、販売力・購買力の向上、品質の向上、そして付加価値製品の開

発と拡販がポイントだと考えています。いずれも当たり前のことですが、地道な努力を重ねていくことで、厳しい事業環境の中で比較優位に立っていくことが重要です。

そして、CO₂排出量の削減、製造過程で発生する副産物の完全リサイクルを目指すゼロエミッションも同様に重要です。鉄づくりで社会を支える企業として、事業を通じた「地球環境との調和」に取り組むことは責務であると考えています。CO₂排出量については、「2030年度に2013年度対比50%削減(国内生産拠点)」を目標としています。2020年度までに、2016年度の枚方事業所大阪工場の閉鎖や、様々な省エネルギー技術の導入、操業の工夫により、既に34%削減してきました。今後は残る16%の削減に向け、さらなる省エネルギー推進、一部拠点における重油・灯油からLNGなどの低負荷燃料への転換に加え、太陽光発電の取り組みや緑化事業なども進めます。ゼロエミッションについては、鉄鋼副産物の再利用は概ね達成できており、完全な形にすべく取り組んでいるところです。

中期経営計画のタイトル“nexus(ネクサス)”は「つながり・連携」という意味ですが、私たちは、次なる成功、「Next Success」の意味も込めています。厳しい環境ではありますが、これからも、資源循環型社会の実現に向けて貢献し、社会に信頼され、必要とされる「エッセンシャル・カンパニー」を目指してまいります。

株主の皆様には、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

Business TOPICS

Business TOPICS 1

枚方事業所にて新しい製品倉庫が稼働

2021年7月に、枚方事業所敷地内にて新たに建設した製品倉庫が竣工し、稼働を始めました。従来の製品倉庫は、市道によって分断され圧延工場から百数十メートル離れた場所へ製品をトレーラー等で横持ちしていたために、多くの物流の制約と近隣交通へ影響を与えていました。今回新倉庫を建設するにあたり、圧延工場から新倉庫へ自動搬送するコンベアと、メーカーと共同開発したマグネットで製品を自動的にはい山積みするクレーンを導入したことで、今まで必要としていた玉掛けなどの作業が無くなり省力化と安全性向上、CO₂排出量の削減が実現しました。

また、来年1月には屋根に400kWh容量の太陽光発電パネルを設置する予定で、さらに環境にやさしい工場への転換を進めていきます。



Business TOPICS 2

個人投資家向けIRウェブセミナーを開催

2021年9月に、野村IR主催の個人投資家向けIRウェブセミナーを開催しました。当日は1,000名近くの個人投資家の皆様に参加していただき、事業概要や今後の経営戦略、持続可能な社会の実現に貢献するための取り組みなどについて説明しました。ウェブセミナーの動画は当社ウェブサイト「個人投資家向けIR説明会」のページにてご視聴いただけます。引き続き、ウェブなどを用いた情報発信の充実を積極的に図っていきます。

https://www.kyoeisteel.co.jp/ja/ir/library/individual_ir.html



ESG TOPICS

ESG TOPICS 1

パートナーシップ構築宣言に登録

2021年9月に、当社はサプライチェーンの取引先の皆様や事業者の皆様との連携・共存共栄を進めることで、より良いパートナーシップを構築することを目的とした「パートナーシップ構築宣言」に登録しました。引き続き、下請中小企業振興法に基づく「振興基準」を遵守するとともに、取引先の皆様と連携を取りながら、サプライチェーン全体での付加価値向上に努めていきます。



ESG TOPICS 2

オリーブ植樹 第2回目実施

2021年11月に、山口事業所の近隣遊休地にて2回目となるオリーブの植樹式を行いました。4月に実施した前回に続き、今回は約200本植樹し、今年植樹したオリーブの本数は合計で約300本となりました。地元のJ2プロサッカークラブ「レノファ山口FC」マスコットキャラクターのレノ丸君も駆けつけ、植樹式は和やかな雰囲気で行われました。



ESG TOPICS 3

地元の大学との共同研究開始

2021年5月、AIなど最新技術を用いた安全・効率的な電炉操業を目指して、山口事業所と山陽小野田市立山口東京理科大学とで共同研究を行う契約を締結しました。同大学との共同研究を通じて、電気炉での溶解工程における高温環境下での成分判定がより正確に安全に行えるよう改善し、働きやすい職場環境づくりを目指していきます。



もっと知りたい 共英製鋼

営業編

私たちは「契約すれば終わり」でなく、納品までが営業の仕事だと考えます。お客様にとって最適な製品とは何か、納期に間に合わせるためにはどうしたらいいのか。常にお客様に寄り添いながら日々奮闘する営業担当者から、当社製品の一部をアピールします。

鉄筋



鉄筋は、主にマンションや戸建住宅などの柱や梁、床に使用されます。また、橋や高速道路の橋脚などの土木資材としても使われます。当社グループの主力製品で、国内シェアNo.1を堅持しています。鉄筋には、メーカーごとに異なるデザインのロールマークが等間隔に付いています。

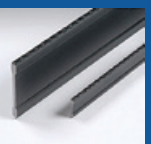


当社製品のロールマークはこちらです！良かったら探してみてくださいね。

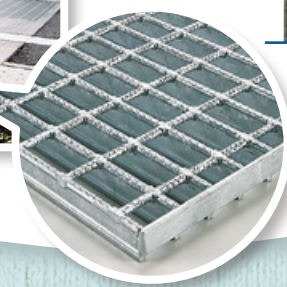


山口事業所 営業部
青木 凌

ノンスリップ アイ バー



ノンスリップバーは、グレーチングメーカーに納品され、道路の側溝など街中のあらゆる場所に使用される溝蓋などに加工されます。雨の日でも滑りにくいよう表面加工がなされ歩行者や自動車にやさしい点が特徴です。



私は滑り止め部分の模様を見ただけでどこのメーカーの製品かが分かります。道を歩くときは、つい下ばかり見てしまいます。溝蓋をのぞき込んでいる人がいたら、それは私かもしれません。



山口事業所 営業部 川口 達也

ネジ節鉄筋

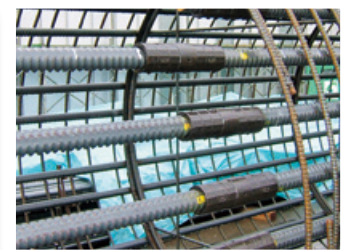


ネジ節鉄筋は、その名のとおり、節がネジ形状になっている鉄筋です。機械式継手（つぎて）という特殊な部材を用いて、ネジ節鉄筋同士を繋ぎます。火器を使わずに施工ができるため、優れた施工性と高い安全性が評価されています。高層建築物や橋の橋脚など大型物件に採用されることが多いです。

コロナ禍で、直接お客様にお会いして会話をすることが減り大変ですが、電話やオンラインツールを駆使して頑張っています。



名古屋事業所 営業部
門田 真典



カラーアングル 「ECO74」



カラーアングルとは塗装を施した「等辺山形鋼」のことで、主に建設用外壁材の取付け部材として使われます。昨年発売したカラーアングル「ECO74」は、環境に配慮した鉛・クロムフリーの水溶性塗料を使用し、防錆性にも優れた画期的製品です。発売後も改良を加え、順調にシェアを伸ばしています。

新設した自動塗装ラインにより、水溶性塗料の密着性などの課題を解決し、短納期・安定供給を実現！



山口事業所 営業部
森 美聡



「ECO74」の新発売にあたって、地元産品を景品にした拡販キャンペーンを開催しました。固定観念にとらわれない発想で、お客様のニーズを汲み、営業の質の向上につなげます！

決算情報

連結貸借対照表(要旨)

科目	前期末	当第2四半期末
	2021年3月31日現在	2021年9月30日現在
資産の部		
流動資産	169,894	188,588
固定資産	112,388	118,475
有形固定資産	94,377	99,511
無形固定資産	3,615	3,793
投資その他の資産	14,396	15,171
資産合計	282,282	307,064

連結損益計算書(要旨)

科目	前第2四半期	当第2四半期
	2020年4月1日～ 2020年9月30日	2021年4月1日～ 2021年9月30日
売上高	105,718	142,203
売上原価	90,409	128,329
売上総利益	15,309	13,874
販売費及び一般管理費	7,471	8,275
営業利益	7,838	5,599
営業外収益	1,216	1,709
営業外費用	1,101	664
経常利益	7,954	6,645
特別利益	95	24
特別損失	308	287
税金等調整前四半期純利益	7,741	6,381
法人税等	2,288	1,306
四半期純利益	5,453	5,076
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△301	1,687
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,754	3,388

※ 22/3期より、「収益認識に関する会計基準」を適用しています。

株式情報

株式の状況 (2021年9月30日現在)

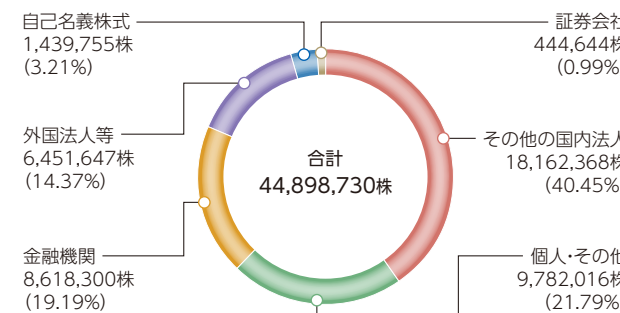
発行可能株式総数	150,300,000株
発行済株式総数	44,898,730株
株主数	10,634名
大株主	

株主名	持株数	持株比率 ^{※1}
日本製鉄株式会社	11,592,932株	26.68%
高島 秀一郎	4,347,460	10.00
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,607,600	6.00
株式会社日本カストディ銀行 (三井住友信託銀行再信託分・ エア・ウォーター株式会社退職給付信託口)	2,600,400	5.98
高島 成光	2,233,000	5.14
三井物産株式会社	1,470,000	3.38
合同製鐵株式会社	1,347,000	3.10
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	970,882	2.23
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	752,500	1.73
GOVERNMENT OF NORWAY	715,383	1.65

※1 持株比率は、小数第3位以下を四捨五入して表示しています。

※2 持株比率は、自己株式(1,439,755株)を控除して計算しています。

所有者別株式分布状況 (2021年9月30日現在)



会社情報

会社概要 (2021年9月30日現在)

商号	共英製鋼株式会社 (KYOEI STEEL LTD.)
設立	1947(昭和22)年8月21日
資本金	185億16百万円
従業員数	4,018名(連結:正社員)
主な事業	(1) 鋼片、各種鋼材、鉄鋼製品の製造・加工・販売 (2) 一般・産業廃棄物、医療廃棄物の収集・運搬・ 処分業および自動車リサイクル事業ならび に廃棄物再生資源化事業 (3) 鉄筋・ネジ鉄筋加工と組立工事 (4) 鉄鋼製造プラントの設計および鉄鋼製造技 術の販売
関係会社	関東スチール(株) 共英産業(株) (株)共英メソナ 共英リサイクル(株) 共英加工販売(株) (株)吉年 ピナ・キョウエイ・スチール社 キョウエイ・スチール・ベトナム社 ベトナム・イタリー・スチール社 チー・パイ・インターナショナル・ポート社 ピナ・ジャパン・エンジニアリング社 ピントン・スチール社 アルタ・スチール社 中山鋼業(株) 他

役員 (2021年9月30日現在)

代表取締役会長	高島 秀一郎	上席執行役員	白石 愛明
代表取締役社長	廣富 靖以	上席執行役員	横山 政美
取締役・専務執行役員	坂本 尚吾	上席執行役員	橋本 公宣
取締役・常務執行役員	国丸 洋	執行役員	松本 哲哉
取締役・上席執行役員	北田 正宏	執行役員	林 進
取締役・上席執行役員	川井 健司	執行役員	西村 周
取締役(社外)	山尾 哲也	執行役員	中谷 進亮
取締役(社外)	川邊 辰也	執行役員	宮村 明央
取締役(社外)	山本 竹彦	執行役員	岩佐 博之
取締役(社外)	船戸 貴美子	執行役員	米村 泰宏
常勤監査役	前田 豊治	執行役員	藤岡 進一
監査役	市原 修二	執行役員	上道 雅文
監査役(社外)	安藤 雅則	執行役員	沢村 真人
監査役(社外)	宗岡 徹	顧問/フアウンダー名譽会長	高島 成光

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日までの1年
定時株主総会	毎年6月
基準日	
定時株主総会	3月31日（その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。）
期末配当	3月31日
中間配当を行う場合	9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	☎0120-782-031
公告の方法	電子公告とします。 ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
上場証券取引市場	東京証券取引所市場第一部
証券コード	5440

株式に関する住所変更等の届出およびご照会について
証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等の届出およびご照会については、口座のある証券会社宛にお願いいたします。

株主優待制度について

当社は、長期にわたり当社株式を保有いただいている株主の皆様のご支援に感謝するとともに、今後より多くの方々に中長期的に当社株式を保有していただくことを目的として、株主優待制度を設けております。

保有株式数および継続保有期間に応じ、以下の優待品をお贈りいたします。

優待品／QUOカード

保有株式数	継続保有期間	
	1年未満	1年以上
100株以上1,000株未満	1,000円分	2,000円分
1,000株以上	2,000円分	3,000円分

詳しくは、当社ウェブサイト「投資家情報／株式情報／株主優待」をご覧ください。

共英製鋼株式会社

〒530-0004 大阪市北区堂島浜1-4-16 アクア堂島西館18階
TEL 06 (6346) 5221 (代表) URL <https://www.kyoeisteel.co.jp/>

株主様向け
アンケート

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではありますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。（所要時間は5分程度です）

①下記URLにアクセス

②アクセスコード入力後にアンケートサイトが表示

<https://www.e-kabunushi.com>

アクセスコード **5440**



検索窓から



kabu@wjm.jp ←こちらへ空メールを送信

「件名」本文は無記入。
アンケートのURLが直ちに自動返信されます。



スマートフォンから

カメラ機能でQRコード読み取り→
QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。



ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝（図書カード500円）を
進呈させていただきます

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です



本アンケートは、株式会社a2mediaの提供する
「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
<https://www.a2media.co.jp>

アンケートのお問い合わせ

「e-株主リサーチ事務局」

(2108)

MAIL: info@e-kabunushi.com

IRメール配信
サービス
を実施しています。



最新のIRニュースや適時開示情報等を、
ご登録のメールアドレスにお送りいたします。
以下のURLよりご登録手続きください。

<https://www.kyoeisteel.co.jp/ja/ir/mail.html>

